



取扱説明書

FZ409

USB/MP3/WMA/AACレシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
エラー表示について	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
OEL表示について	8

本機の操作

■各部の名称とはたらき

ディスプレイ表示	9
本体部	10
(別販)リモコン(RCB176)の使いかた	12

■基本の操作

電源を入れる	14
ソースを選ぶ	14
音量を調節する	14
音を消す(ミュート)	14
タイトルを切り換える	15
表示レイアウトを変更する	15
設定項目の選びかた(サウンド設定)	16
音質を簡単に設定する(BEAT EQ機能)	16
BEAT EQ機能を調整する	17
音質(BASS/MID/TRBLE)を調整する(カスタム設定)	17
圧縮ファイルの修復補正する(BBE MP機能)	18
左右のスピーカー音量を調整する	18
前後のスピーカー音量を調整する	19
重低音を増強する(マグナベースEX機能)	19
ハイパスフィルターの設定	19
サブウーファー・ローパスフィルターの設定	19
サブウーファー出力ボリュームを調整する	19

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	20
受信バンドを切り換える	20
自動選局する(シーク選局)	20
手動選局する(マニュアル選局)	20
プリセット選局する	21
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	21
設定項目の選びかた(ラジオ設定)	21
プリセットメモリーする(P.CH MEMORY機能)	22
放送を確かめる(PRESET SCAN機能)	22
自動メモリーする(AUTO STORE機能)	22
タイトルを入力する(TITLE INPUT機能)	22

■USB機器のオーディオファイルを聴く

MP3/WMA/AACについて	23
USB機器について	23
USB機器を接続する	24
USB機器のオーディオファイルを聴く	24
再生を終了するには	25
再生を止める(一時停止)	25
曲を選ぶ	25
早送り／早戻しする	25
最初の曲から聴く(トップ機能)	25
聴きたい曲を探す(ファイルサーチ機能)	25
フォルダを切り換える(フォルダ選択機能)	25
いろいろな再生(スキャン／リピート／ランダム演奏)	26

■iPodを操作する

iPodを接続する	28
iPodを選ぶ	29
タイトル表示について	29
いろいろな再生(リピート／ランダム演奏)	29
ビデオ音声出力を設定する(OUTPUT FORM)	31
シンプルコントロールモードを選ぶ(SIMPLE MODE)	31
iPod MENUのカテゴリーから曲を探す(MUSIC)	32
iPod MENUのカテゴリーからビデオファイルを探す(VIDEO)	33
アルファベット検索する(ABCサーチ機能)	33

■ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)

AUXを選ぶ	34
AUX入力接続のしかた	34
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)	34

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目の選びかた(各種設定)	35
時刻を合わせる(CLOCK EDIT)	35
ディスプレイの明るさを調整する(DISP BRIGHT)	36
操作音を設定する(BEEP)	36
スクリーンセーバーを設定する(SCREEN SAVER)	36
タイトルスクロールを設定する(AUTO SCROLL)	36
スクロールスピードを調整する(SCROLL SPEED)	36
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	37
盗難防止インジケータを設定する(BLINKING LED)	37
外部アンプを設定する(AMP CANCEL)	37
携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL SWITCH)	37
システムをチェックする(SYSTEM CHECK)	37

その他

故障かな?と思ったら	38
エラー表示について	39
仕 様	40
アフターサービスについて	41

主な特長



■静電非接触スイッチ採用

- ・フロントパネル表面に「タッチ」「スライド」してオーディオ操作が可能な静電非接触スイッチを採用。スムーズにデジタル音楽を再生できます。

■フルドットOELディスプレイ

- ・フロントパネルに自発光で視認性の高いフルドット有機ELディスプレイを採用。従来のLCDに比べ、より美しく滑らかな高画質表示が可能です。iPod等、USBソースの漢字表示に対応しております。

■BBE® MP

- ・デジタル圧縮の際に失われた音の成分を修復・補正し、音のあたたかみや微妙なニュアンスを再現。
- ・この製品は BBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
- ・この製品は米国 BBE Sound, Inc. の所有する特許USP5510752 及び5736897 を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound, Inc. の登録商標です。

■USBメモリー接続

- ・USBメモリーを手軽に接続でき、記録されたMP3/WMA/AACファイルの再生が可能です。

■iPod® USB接続

- ・iPodに付属されているUSBケーブルを使って本機にダイレクトに接続することで、本機側で曲の選択・再生操作(プレイモード)が可能です。英数字から素早く曲を検索することができる「ABCサーチ」や、iPod本体で操作中でも本機側で簡単な操作を行える「シンプルコントロールモード」を搭載
- ・本機は、iPodの充電が可能です。

※iPodを本機と接続する場合、iPodに付属されているiPodケーブルをご使用ください。

- ・本機でコントロール可能なiPod機器に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

- ・「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

■外部入力機能(AUX入力)

- ・ポータブルオーディオなどが接続可能な背面3.5mmステレオAUX入力端子を装備しております。
- ・Bluetooth®トランシーバー(BLT370)との組み合わせにより、ハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能です。

■Beat EQ 機能

■6ch音声出力端子搭載

■50W×4ハイパワーアンプ内蔵

■ハイパスフィルター/ローパスフィルター搭載

■別販のリモートコントローラー対応

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 走行中運転者は操作をしない…



前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 走行中運転者は操作パネルおよび画面を注視しない…



前方不注意となり交通事故の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しない…



事故や火災、感電の原因となります。

- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…



事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…



そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『取付説明書』をご覧ください。

⚠ 注意

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…** 

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- **本機を車載用以外には使用しない…** 
- 感電やけがの原因となることがあります。

- **電源を切るときは、音量を最小にする…** 
- 電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…** 
- 火災の原因となることがあります。

- **本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…** 
- 専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

- 本機はUSB 1.1/2.0互換で、MP3/WMA/AACフォーマットのファイルが再生できます。
- 本機のUSBケーブルに接続をして再生できるUSB機器は、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- 2つ以上のドライブで構成されているUSB機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティ機能の付いたUSB機器は再生できません。
- 使用するUSB機器が「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。
- 本機は次の条件で作成されたAACファイルを再生します。
 - …iTunesでエンコードされたAACファイル
 - …iTunesのバージョンはVer.7.0以前
 - …ファイル拡張子は、「.m4a」(「.M4A」)
- iTunes Music storeで購入した楽曲や著作権保護されたファイルは再生できません。
- AACファイルをエンコードしたiTuneのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」の項目(39ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- ・樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- ・自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

OEL表示について

- この製品に使われているOEL(Organic Electro-Luminescence)ディスプレイは、高度な技術をベースに製造されています。しかし、一部の画素が発光したまま、あるいは発光しないままとなる可能性があります。この結果、見る角度によって画面の色や明るさが均一にならないことがあります。
- OELディスプレイの焼き付けを防止するため、画面上に横線の画素を定期的に表示しています。これはOELディスプレイ固有の現象であり、品質には問題ございません。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ表示

■ USBモード時

- SCN** : スキャン演奏選択時
- RPT** : リピート演奏選択時
- RDM** : ランダム演奏選択時
- A.SCN** : オールスキャン演奏選択時
- A.RPT** : オールリピート演奏選択時
- A.RDM** : オールランダム演奏選択時

■ iPodモード時

- RPT RDM** : リピート/ランダム演奏選択時
- RPT A.RDM** : リピート/オールランダム演奏選択時
- RDM** : ランダム演奏選択時
- A.RDM** : オールランダム演奏選択時

アジャストモード時：設定項目名



時計表示

機能表示/タイトル表示

ラジオモード時：
バンド名/周波数
プリセットNo.

USBモード時：
フォルダ名
トラック名
再生時間

ファイル形式

- MP3** : MP3再生時
- WMA** : WMA再生時
- AAC** : AAC再生時

ソースアイコン表示

サウンド設定表示

- M-B** : マグナベースEX機能ON時
- BEQ** : ビートEQ機能ON時
- MUTE** : ミュート(消音)時

■ ラジオモード時

- STN** : ステレオ受信時
- MANU** : マニュアル選局時
- AS** : オートストア選択時
- SCN** : プリセットスキャン時

■ ソースメニュー表示

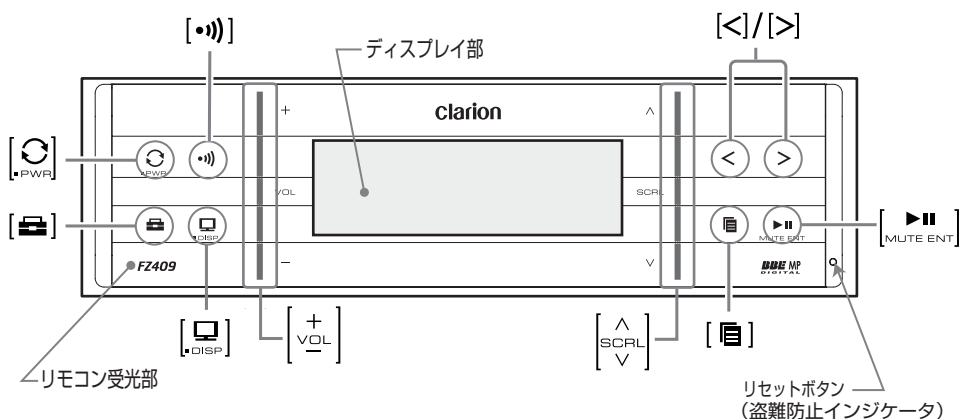


■ アジャストモード表示



- ディスプレイ上の項目をタッチすることはできません。ディスプレイ上の項目を選択するには ブルーのイルミネーション上をタッチしてください。

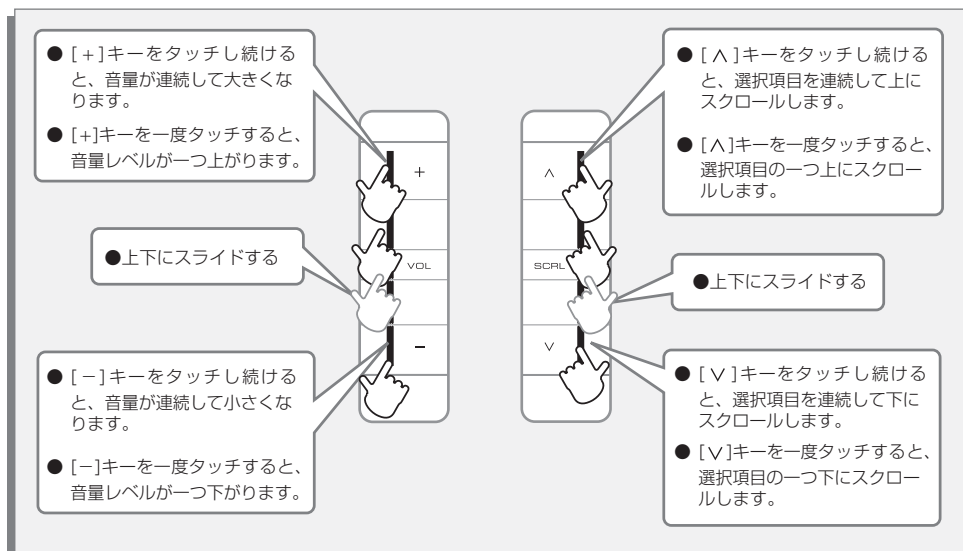
本体部



■ タッチパネルの操作について

- タッチパネルの操作は、指先でお願いします。爪先やグローブをした状態では反応しません。
- $\left[\begin{array}{c} + \\ \text{VOL} \\ - \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} \wedge \\ \text{SCRL} \\ \vee \end{array} \right]$ ブルーのイルミネーション上を上下にスライドさせることにより、スクロールさせることができます。

警告 ・運転中目視による操作は大変危険ですので、停車中に操作してください。



[] ソースキー

- 電源が入ります。
- 電源を切るときは、1秒以上タッチします。
- ソースメニューに切り換えます。

[] ISRキー

- 現在のモードにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)
- 2秒以上タッチすると、ISRにメモリーします。

[] アジャストキー

- アジャストモードに切り換えます。

[] ディスプレイキー

- タイトル表示を切り換えます。
- 1秒以上タッチすると、画面レイアウトを切り換えます。
(タイトル表示→インジケータ表示→時計表示)
- iPodのサブカテゴリーリストを選択時に1秒以上タッチすると、アルファベット検索に切り換えます。(ABCサーチ機能)

[] ボリュームキー

- 音量を調節します。

[] スクロールキー

- ラジオモード時は、プリセットチャンネルを選択できます。
- USB機器の再生時は、フォルダーのアップダウンを行います。
- アジャストモード時は、設定項目の選択を行います。

[<]/[>] サーチキー

- ラジオモード時は、選局に使います。
- USB (iPod) モード時は、選曲に使います。
1秒以上タッチすると、早送り/巻き戻しを行います。

[] バンドキー

- ラジオモード時は、バンドを切り換えます。
1秒以上タッチすると、自動選局か手動選局に切り換えます。
- USB機器の再生時は、ファイルを選択して再生します。(ファイルサーチ機能)
1秒以上タッチすると、最初の曲を再生します。(トップ機能)
- iPodの再生時に1秒以上タッチすると、iPodのカテゴリー選択画面に切り換えます。

[] ブレイ/ポーズキー

- ラジオモード時は、ミュート(消音)機能をON/OFFします。
- USB (iPod) モード時は、再生を一時停止します。
- プリセットメモリー/タイトルインプット時は、2秒以上タッチすると、設定が完了します。
- 各種設定した項目を決定します。

[USB端子]

- USB機器を接続 (本体背面部)

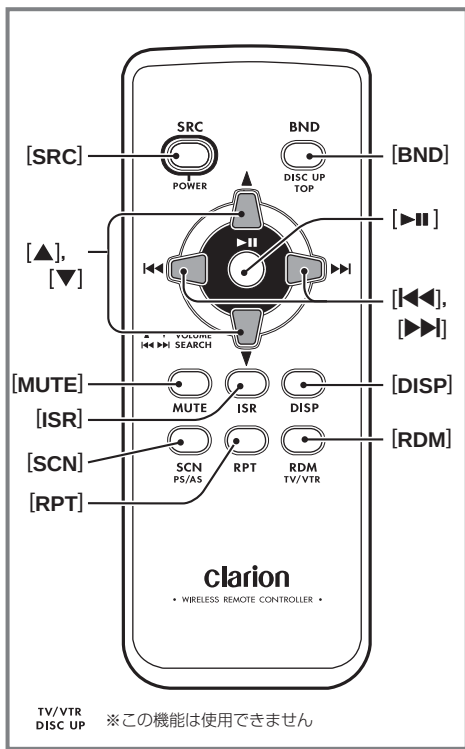
[3.5mm AUX入力端子]

- 外部機器を接続 (本体背面部)

[盗難防止インジケータ]

- 設定をONにした場合、車のイグニッションキーをOFFにすると赤く点滅します。

(別販)リモコン(RCB176)の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼び出す

[ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオで[ISR]ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のモードに戻すには、もう一度[ISR]ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。
※iPod接続時は使用できません。
- 押し続ける(約1秒間)と、オールスキャン演奏します。
- ラジオ時には、プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)
- 解除するときは、もう一度[SCN]ボタンを押します。

繰り返し再生する

[RPT] ボタン

- リピート演奏します。
- 押し続ける(約1秒間)と、オールリピート演奏します。
- 解除するときは、もう一度[RPT]ボタンを押します。

最初の曲から再生する/バンドを切り換える

[BND] ボタン

- 最初の曲から再生します。
- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。
- iPod接続時は、iPodモードを呼び出します。

再生を一時停止する

[▶||] ボタン

- 再生を一時停止します。

選曲する/選局する

[◀◀], [▶▶] ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
タイトル表示 ↔ メイン表示

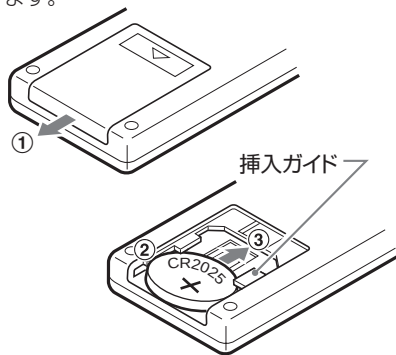
ランダム演奏する

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。
- 押し続ける（約1秒間）と、オールランダム演奏します。
- 解除するとき、もう一度[RDM] ボタンを押します。

■ 電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠ 警告

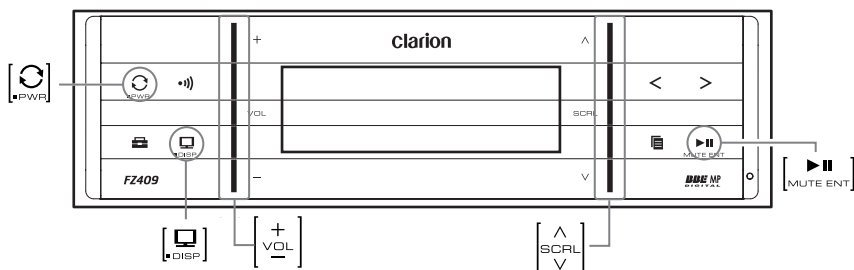
- リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、けがや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。
また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、電源を入れるとシステムチェックを開始し、ディスプレイに「SYSTEM CHECK」を表示します。

1 [PWR]にタッチする

【注意】

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

[PWR] 1秒以上タッチしてください。

ソースを選ぶ

1 [PWR]をタッチして、ソースメニューを表示する

2 選ぶたいソース横のボリュームキーまたはスクロールキーをタッチする



音量を調節する

1 音量を上げる場合は、[VOL]を上方向にスライドする、または[+]をタッチする

2 音量を下げる場合は、[VOL]を下方向にスライドする、または[-]をタッチする

- ・調整範囲は、0～33です

【注意】

- ・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音を消す(ミュート)

1 [MUTE ENT]にタッチする

→「MUTE」が点滅します。

- ・ラジオモードのときに可能です。

もとの音量に戻すには…

もう一度、[MUTE ENT]をタッチしてください。

タイトルを切り換える

1 [DISP]タッチし、表示を切り換える

→タッチするたびに、次のように切り換わります。

●USB機器接続時



●iPod接続時



表示レイアウトを変更する

1 [DISP]を1秒以上タッチする

→[DISP]を1秒以上タッチするたびに、次のように切り換わります。

タイトル表示 → インジケータ表示 → 時計表示

例) iPod接続時



タイトル表示



インジケータ表示



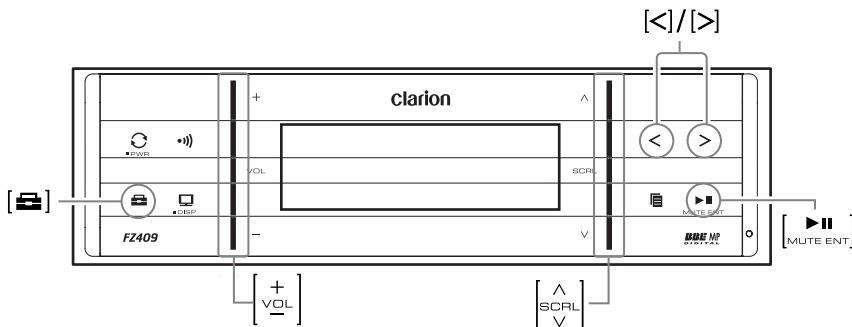
時計表示

■時計設定のしかた…

設定については「時刻を合わせる(CLOCK EDIT)」(35ページ)をご覧ください。

■スクリーンセーバー機能について…

スクリーンセーバーの初期設定は「ON」です。一定時間表示した後、この機能がはたらきます。時計表示などを常に表示させたい場合は、「OFF」に設定してください。設定については「スクリーンセーバーを設定する(SCREEN SAVER)」(36ページ)をご覧ください。



設定項目の選びかた (サウンド設定)

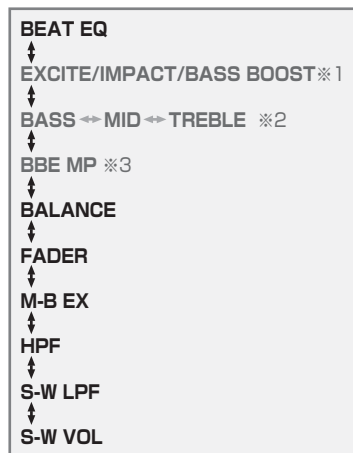
1 [] をタッチして、アジャストモードにする

2 「**[SOUND]**」横のボリュームキーをタッチする



3 [^] をスライドする、または [^] / [V] をタッチして、項目を選択する

→ タッチするたびに、次のように切り換わります。



※1 : BEAT EQ機能が「EXCITE/IMPACT/BASS BOOST」に設定されている場合に、「EXCITE/IMPACT/BASS BOOST」は表示されます。

※2 : BEAT EQ機能が「CUSTOM」に設定されている場合に、「BASS / MID / TRBLE」は表示されます。

※3 : 「BBE MP」は、USBモードのときに表示します。

途中で解除するには…

[] を2回タッチしてください。

・元のモードに戻ります。

ご注意

・10秒間操作がないときは、アジャストモードを解除し、元のモードに戻ります。

音質を簡単に設定する (BEAT EQ機能)

本機は、3つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。好みの音質を設定してお楽しみください。

- ・ **EXCITE** : 低音と高音をさらに強調
- ・ **IMPACT** : 低音と高音を強調
- ・ **BASS BOOST** : 低音を強調

※初期設定は、「OFF」です。

音質をきめ細かく設定したいときは…

この機能を**CUSTOM**(カスタム)に設定し、「音質(BASS/MID/TRBLE)を調整する(カスタム設定)」(17ページ)の手順で、好みの音質に調整してください。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**BEAT EQ**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、サウンド設定を選ぶ
→タッチするたびに、次のように切り換わ
ります。



3-4 [**MUTE ENT**]をタッチする

BEAT EQ機能を調整する

で注意

- BEAT EQ機能が**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。

※初期設定は、「0」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**EXCITE/IMPACT/**
BASS BOOST」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、調整する

- 調整範囲は、-3～+3です。

3-4 [**MUTE ENT**]をタッチする

音質(BASS/MID/TRBLE) を調整する(カスタム設定)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお
聴きになりたいときにご使用ください。

で注意

- BEAT EQ機能が**CUSTOM**(カスタム)の
ときに調整できます。

●BASS(低音)の調整

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**BASS**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**<**]/[**>**]をタッチして、ゲイン(“G”)
周波数(“F”) Qカーブ(“Q”)を選択する

3-4 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、調整する

G : “0” (調節範囲: +7 ～ -7)

F : “50Hz” (調節範囲:50/100/200)

Q : “1.0” (調節範囲: 0.7/1/1.4/2)

3-5 [**MUTE ENT**]をタッチする

次ページに続く➡

音質(BASS/MID/TRBLE) を調整する(カスタム設定)

●MID(中音)の調整

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**MID**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**<**]/[**>**]をタッチして、ゲイン(“G”)
周波数(“F”) Qカーブ(“Q”)を選択する

3-4 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、調整する

G: “0” (調節範囲: +7 ~ -7)

F: “500Hz” (調節範囲: 500/1k/2k)

Q: “1.0” (調節範囲: 0.7/1/1.4/2)

3-5 [**▶||**]
MUTE ENTをタッチする

●TREBLE(高音)の調整

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**TREBLE**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**<**]/[**>**]をタッチして、ゲイン(“G”)
周波数(“F”) Qカーブ(“Q”)を選択する

3-4 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、調整する

G: “0” (調節範囲: +7 ~ -7)

F: “10kHz” (調節範囲: 5k/10k/15k)

Q: “1.0” (調節範囲: 0.7/1/1.4/2)

3-5 [**▶||**]
MUTE ENTをタッチする

圧縮ファイルの修復補正する (BBE MP機能)

BBE MP(Minimised Polynomial Non-Linear Saturation)はMP3のようにデジタル圧縮の際に失われた音の成分を修復・補正し、高音質にする機能です。

※この機能は、iPod・USB機器の音声
に対して調整ができます。

※初期設定は、「OFF」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**BBE MP**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

●「ON」に設定したとき

3-4 [**>**]をタッチする

3-5 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、「HIGH」「MID」「LOW」
を選ぶ

※初期設定は、「MID」です。

3-6 [**▶||**]
MUTE ENTをタッチする

左右のスピーカー音量を調整する

※初期設定は、「CENTER」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「**BALNCE**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**SCRL**]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]
をタッチして、調整する

・調整範囲は、RIGHT 12~ LEFT 12
です。

3-4 [**▶||**]
MUTE ENTをタッチする

前後のスピーカー音量を調整する

※初期設定は、「CENTER」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「FADER」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3  をスライドする、または[Λ]/[V]
をタッチして、調整する

• 調整範囲は、FRONT 12～ REAR
12 です。

3-4  をタッチする

重低音を増強する (マグナベースEX機能)

※初期設定は、「OFF」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「M-B EX」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3  をスライドする、または[Λ]/[V]
をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

3-4  をタッチする

ハイパスフィルターの設定

※初期設定は、「THROUGH」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「HPF」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3  をスライドする、または[Λ]/[V]
をタッチして、「THROUGH」「120」
「90」「60」を選ぶ

3-4  をタッチする

• RCA出力の音声は調整できません。

サブウーファー・ローパス フィルターの設定

※初期設定は、「THROUGH」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「S-W LPF」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3  をスライドする、または[Λ]/[V]
をタッチして、「THROUGH」「120」
「90」「60」を選ぶ

3-4  をタッチする

サブウーファー出力ボリューム を調整する

※初期設定は、「0」です。

3-1 『設定項目の選びかた(サウンド設定)』
の手順で「S-W VOL」を選ぶ

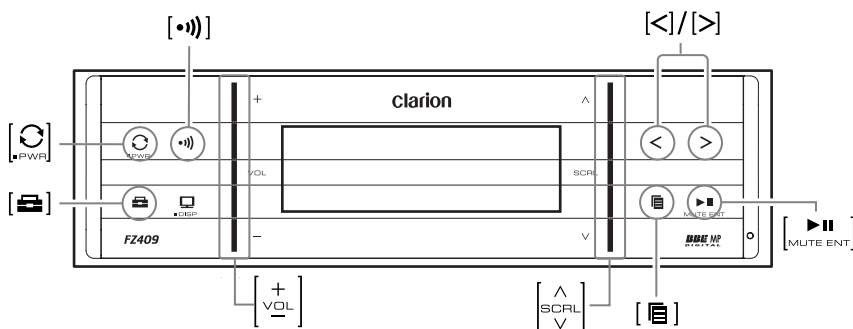
3-2 [>]をタッチする

3-3  をスライドする、または[Λ]/[V]
をタッチして、調整する

• 調整範囲は、-6～+6です。

3-4  をタッチする

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

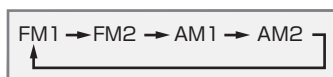
- 1 [PWR] をタッチしてソースメニューを表示し、[TUNER] 横のボリュームキーをタッチする



受信バンドを切り換える

- 1 [MANU] をタッチして聴きたいバンド(FM またはAM)を選ぶ

→タッチするたびに、バンドが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

- 1 [MANU] をタッチして聴きたいバンド(FM またはAM)を選ぶ

- 2 [<]/[>] をタッチする

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 [MANU] をタッチして聴きたいバンド(FM またはAM)を選ぶ

- 2 [MANU] を 1 秒以上タッチする

→「MANU」が点灯し、マニュアル選局ができます。

- 3 [<]/[>] をタッチして、放送のあるところに合わせる

→マニュアル選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局

[<]/[>] をタッチすると、周波数が 1 ステップずつ切り換わります。

- クイック選局

[<]/[>] を 1 秒以上タッチすると、周波数が連続して切り換わります。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [⏮] をタッチして聴きたいバンド(FM またはAM)を選ぶ

2 [SCRL] をスライドし、または[△]/[▽] をタッチして、聴きたい放送局を選択する

→ディスプレイに受信周波数とプリセット No.を表示します。

3 [MUTE] をタッチする

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [●●] をタッチする

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[●●] をタッチすると元のモードに戻ります。

■ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[●●] を2秒以上タッチする

→ISRにメモリーされます。

設定項目の選びかた (ラジオ設定)

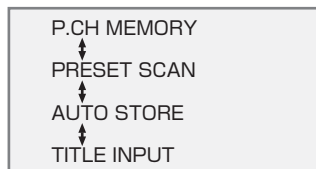
1 [⏮] をタッチして、アジャストモードにする

2 「OPTION」横のボリュームキーをタッチする



3 [SCRL] をスライドする、または[△]/[▽] をタッチして、項目を選択する

→タッチするたびに、次のように切り換わります。



■途中で解除するには…

[⏮] を2回タッチしてください。

・元のモードに戻ります。

◇注意◇

・10秒間操作がないときは、アジャストモードを解除し、元のモードに戻ります。

プリセットメモリーする (P.CH MEMORY機能)

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

3-1 『設定項目の選びかた(ラジオ設定)』の手順で「**P.CH MEMORY**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [**▲**][SCRL]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]

をタッチして、メモリーしたいプリセットNo.に合わせる

3-4 [**▶**][MUTE ENT]を2秒以上タッチする

→ディスプレイに“MEMORY”を表示しプリセットチャンネルにメモリーされます。

放送を確かめる (PRESET SCAN機能)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットチャンネルにメモリーされている放送局を順に受信します。

3-1 『設定項目の選びかた(ラジオ設定)』の手順で「**PRESET SCAN**」を選ぶ

3-2 [**▶**][MUTE ENT]をタッチする

→プリセットスキャンが開始されプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■ **プリセットスキャンを解除するには…**

聴きたい放送局に周波数が合ったら、[<]/[>]をタッチするとプリセットスキャンが解除されます。

自動メモリーする (AUTO STORE機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

3-1 『設定項目の選びかた(ラジオ設定)』の手順で「**AUTO STORE**」を選ぶ

3-2 [**▶**][MUTE ENT]をタッチする

→自動的に、受信感度の良い放送局が登録されます。

ご注意

- 自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。
- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

タイトルを入力する (TITLE INPUT機能)

タイトル入力について…

ラジオタイトルを入力することができます。(英文字10文字まで入力できます。)

3-1 『設定項目の選びかた(ラジオ設定)』の手順で「**TITLE INPUT**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [<]/[>]タッチしてカーソルを動かす

3-4 [**▲**][SCRL]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]

をタッチして、文字を入力する

3-5 [**▶**][MUTE ENT]を2秒以上タッチする

→ディスプレイに“MEMORY”を表示しタイトルがメモリーされます。

USB機器のオーディオファイルを聴く

MP3/WMA/AACについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- ・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- ・Windows Media™、およびWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●AACとは

- ・「Advanced Audio Coding」の略で、映像圧縮規格(MPEG-2、MPEG-4)で使われる音声圧縮方式です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。「WMA」インジケータが点滅して次のファイルを再生します。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

- ・Windows Media Player 10/11ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(40ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.mp3」「.MP3」「.wma」「.WMA」「.m4a」「.M4A」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- ・MP3/WMA/AAC再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することができます。表示できる文字は漢字/ひらがな/カナ/英数/記号で、それ以外の文字を入力した場合、正しく表示できません。
- ・TAGのないMP3/WMA/AACファイルは「**NO TITLE**」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ階層

- ・フォルダが8階層を超えた場合については、再生できません。

フォルダ数/ファイル数

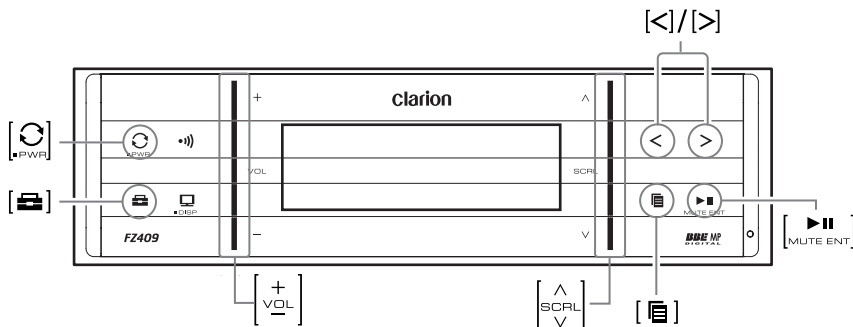
- ・USB機器
フォルダ数：最大512フォルダ(1フォルダあたり最大255ファイル)
ファイル数：最大130,560ファイル

USB機器について

- ・本機のUSBケーブルに接続をして再生できるUSB機器は、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

※「USBマストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

- ・使用するUSB機器が「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、USB機器の販売メーカーにお問い合わせください。
- ・セキュリティー機能の付いたUSB機器は再生できません。
- ・記録されているデータを消失してしまったと、きのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- ・本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USBハブを介して接続することもできません。
- ・2つ以上のドライブで構成されているUSB機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。



<USB機器の操作について>

本機と接続可能なUSB機器については、クラリオンのホームページwww.clarion.comをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

USB機器のオーディオファイルを聴く

- 1 [PWR]をタッチしてソースメニューを表示し、「**USB**」横のスクロールキーをタッチする

USB機器を接続する

1 USB機器をUSB端子に挿入する

→USB機器をUSB端子に接続すると自動的にUSB(iPod)モードに切り換わり、保存された最初のファイルから再生を開始します。

- USB機器が認識されない場合は、[PWR]をタッチしてソースメニューを表示し、ソースを切り換えてください。
- USB機器はUSB端子の奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB機器を認識しない場合があります。
- 記録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。
- 曲の順番は、挿入されたUSB機器によって異なることがあります。(曲の再生順がパソコン画面の表示と異なることがあります)



→USB機器の前回停止したところから再生を始めます。(DRMファイルを除く)

- USB機器を抜き取り、再度挿入したときは、前回停止したところから再生を始めます。
- USB機器を抜き取り、別のUSB機器を挿入したときは、挿入されたUSB機器に記録されたファイルの初めから再生を始めます。

再生を終了するには

- 1  をタッチして、USBモード以外のソースに切り換える

ご注意

- USBモード中にUSB機器を抜き取らないでください。USB機器のデータが破損する場合があります。貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

- 2 USB端子からUSB機器を抜き取る

再生を止める(一時停止)

- 1  をタッチする

→ディスプレイに「PAUSE」を表示します。

■続けて再生を聴きたいときは…

もう一度、 をタッチしてください。

曲を選ぶ

■次の曲を聴く

- 1  をタッチして、次の曲の最初に移動して再生する
- 2  をタッチした回数だけ先の曲が再生される

■前の曲を聴く

- 1  をタッチして、再生中の曲の最初に移動して再生する
- 2  をもう一度タッチすると、前の曲の最初から再生される

早送り／早戻しする

- 1  /  を1秒以上タッチする
 - 早送り： を1秒以上タッチする
 - 早戻し： を1秒以上タッチする

最初の曲から聴く(トップ機能)

再生しているフォルダの最初の曲から再生を始めます。

- 1  を1秒以上タッチする

→最初の曲(トラックNo.1)から再生されます。

聴きたい曲を探す(ファイルサーチ機能)

トラック名(ファイル名)を確認しながらファイルを選択して、再生することができます。

- 1  をタッチする
- 2  をスライドする、または  /  をタッチする
- 3  をタッチする

フォルダを切り換える(フォルダ選択機能)

フォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生をします。

- 1  をスライドする、または  /  をタッチする

→ をタッチしたときは次のフォルダに、 をタッチしたときは前のフォルダに移ります。

いろいろな再生(スキャン／リピート／ランダム演奏)

ご注意

- この機能は、USB機器を接続しているときに設定できます。
- 10秒間操作がないときは、アジャストモードを解除し、元のモードに戻ります。

1 [] をタッチして、アジャストモードにする

2 「**OPTION**」横のボリュームキーをタッチする



3 [] をスライドする、または[]/[] をタッチして、項目を選択する

→ タッチするたびに、次のように切り換わります。



■通常の演奏に戻すには・・・

3-1 「TRICK OFF」を選ぶ

3-2 [] をタッチして、設定をキャンセルする

→ 通常再生に戻ります。

■聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

フォルダ内に記録されている全曲を10秒間ずつ再生します。

3-1 「SCAN」を選ぶ

3-2 [] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または[]/[] をタッチして、「**TRACK**」を選ぶ

3-4 [] をタッチする

→ スキャン演奏中は、「**SCAN**」が点滅します。

■聴きたいフォルダを探す(オールスキャン演奏)

全フォルダ内の最初の曲を10秒間ずつ再生します。

3-1 「SCAN」を選ぶ

3-2 [] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または[]/[] をタッチして、「**ALL**」を選ぶ

3-4 [] をタッチする

→ オールスキャン演奏中は、「**ALL SCAN**」が点滅します。

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

再生中の1曲を繰り返し再生します。

3-1 「REPEAT」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 [3-4 []をタッチする

→リピート演奏中は、「」が点灯します。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く(オールリピート演奏)

再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

3-1 「REPEAT」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「ALL」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→オールリピート演奏中は、「」が点灯します。

■曲をランダムに聴く(ランダム演奏)

再生中のフォルダ内の曲を順不同に再生します。

3-1 「RANDOM」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「TRACK」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→ランダム演奏中は、「」が点灯します。

■全フォルダの曲をランダムに聴く(オールランダム演奏)

USB機器に記録された全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

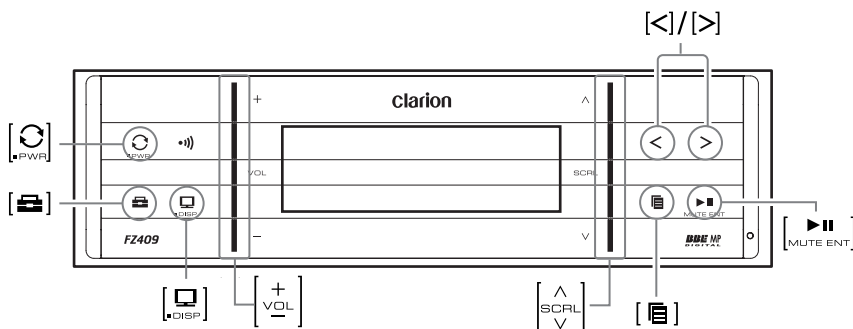
3-1 「RANDOM」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「ALL」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→オールランダム演奏中は、「」が点灯します。



<iPodについて>

この章は、iPodを本機に接続したときの操作について説明しています。

- iPodの操作条件については、iPodの「取扱説明書」を参照してください。
- iPodのバージョンによっては、操作が出来ないことや、正しく動作しないことがあります。
- iPodを本機と接続する場合、iPodに付属されているiPodケーブルをご使用ください。

iPodをUSB端子に接続すると、iPodで再生していた“シャッフル演奏”は次のように設定されます。

- シャッフル(アルバム)→ランダム演奏
- シャッフル(ソング)→オールランダム演奏

本機と接続可能なiPodについては、クラリオンのホームページwww.clarion.comをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

iPodを接続する

1 iPodをUSB端子に挿入する

→iPodをUSB端子に接続すると自動的にUSB(iPod)モードに切り換わり再生を開始します。

ご注意

- 本機でiPodビデオ再生する場合は、外部モニターと(別販)のCCA-740が必要です。

■ iPodの操作について…

本機は、本機側の操作から再生を行う“プレイモード”とiPod側で操作を行う“シンプルコントロールモード”があります。設定については「シンプルコントロールモードを選ぶ(SIMPLE MODE)」(31ページ)をご覧ください。

iPodを選ぶ

- 1 [PWR] をタッチしてソースメニューを表示し、「**USB**」横のスクロールキーをタッチする



ご注意

- 以下の操作はUSBモードと同様の操作です。
 - 曲を選ぶ [＜]/[＞]
 - 早送り／早戻し [＜]/[＞]
 - 一時停止 [MUTE ENT]
- 「USB機器のオーディオファイルを聴く」(24ページ)をご覧ください。

タイトル表示について

本機は接続しているiPodから送られてくるタイトル情報を表示することができます。

- 表示できる文字は、漢字/ひらがな/カナ/英数/記号です。表示できない文字のときは、“*” (アスタリスク) で置き換えます。

いろいろな再生(リピート／ランダム演奏)

ご注意

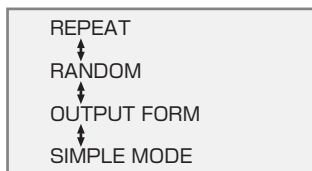
- この機能は、iPodを接続しているときに設定できます。
- 10秒間操作がないときは、アジャストモードを解除し、元のモードに戻ります。

- 1 [PWR] をタッチして、アジャストモードにする
- 2 「**OPTION**」横のボリュームキーをタッチする



- 3 [SCRL] をスライドする、または [V] / [V] をタッチして、項目を選択する

→ タッチするたびに、次のように切り換わります。



次ページに続く➡

iPodを操作する

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

再生中の1曲を繰り返し再生します。

3-1 「REPEAT」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「ON」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→リピート演奏中は、「」が点灯します。

■リピート演奏をキャンセルする

リピート演奏をOFF にします。

3-1 「REPEAT」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「OFF」を選ぶ

3-4 []をタッチする

■アルバムをランダムに聴く(ランダム演奏)

選択されたカテゴリー内で全アルバムを順不同に再生します。(この演奏はiPodの“シャッフル(アルバム)”演奏と同じです)

3-1 「RANDOM」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「TRACK」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→ランダム演奏中は、「」が点灯します。

■曲をランダムに聴く(オールランダム演奏)

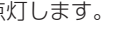
選択されたカテゴリー内で全曲を順不同に再生します。(この演奏はiPodの“シャッフル(ソング)”演奏と同じです)

3-1 「RANDOM」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 []をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「ALL」を選ぶ

3-4 []をタッチする

→オールランダム演奏中は、「」が点灯します。

■ランダム演奏をキャンセルする

3-1 「TRICK OFF」を選ぶ

3-2 []をタッチして、設定をキャンセルする

→通常再生に戻ります。

ビデオ音声出力を設定する (OUTPUT FORM)

iPodのビデオ音声出力をデジタルかアナログに選択することができます。

※初期設定は「**DIGITAL**」です。

- iPod (ビデオ対応) でビデオ再生する場合、本機のiPod出力設定を「**DIGITAL**」に設定してください。

また、市販モニターと(別販)iPodケーブル(CCA-740-500)が必要です。

- iPod 5Gでビデオ再生する場合、本機のiPod出力設定を「**ANALOG**」に設定してください。

また、市販モニターと(別販)iPodケーブル(CCA-740-500)のほかに3.5mmミニプラグ(オス)⇄RCAピンジャック(音声2極メス)ケーブルが必要です。

3-1 「OUTPUT FORM」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 [[^]SCRL]をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「DIGITAL」か「ANALOG」を選ぶ

3-4 [▶||]をタッチする

ご注意

- 設定後、iPodを本機から一度取り外し、再接続してください。この操作をしないと、設定が有効になりません。
- オーディオファイルのみを再生する場合は、ビデオ音声出力設定は「**DIGITAL**」のままにしてください。

シンプルコントロールモードを選ぶ(SIMPLE MODE)

この機能を使うと、iPod側での操作が可能となります。また本機からも、一時停止、曲を選ぶ [<]/[>] など iPod の簡単な操作をすることができます。

※初期設定は、「**OFF**」です。

3-1 「SIMPLE MODE」を選ぶ

3-2 [>]をタッチする

3-3 [[^]SCRL]をスライドする、または[Λ]/[V]をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

- **ON** : iPod側で操作を行います。
- **OFF** : 本機側で操作を行います。

3-4 [▶||]をタッチする

→シンプルコントロールモードがONのとき、次のように「iPod Mode」と表示されます。



ご注意

- シンプルコントロールモードがONのときにiPodと本機と同時に操作しないでください。
- シンプルコントロールモードがONのときは、以下の操作は本機側ではできません。
 - リピート演奏
 - ランダム演奏
 - ビデオ音声出力の設定
 - iPod MENUのカテゴリー選択
 - タイトル切り換え

iPod MENUのカテゴリーから曲を探す(MUSIC)

1 [ENTER]を1秒以上タッチする

2 [SCRL]をスライドする、または[↑]/[↓]をタッチして、「MUSIC」を選ぶ



3 [▶||]をタッチする

→iPodのカテゴリーが表示されます。

4 [SCRL]をスライドする、または[↑]/[↓]をタッチして、カテゴリーを選ぶ

→タッチするたびに、次のように切り換わります。



5 [→]をタッチする

6 [SCRL]をスライドする、または[↑]/[↓]をタッチして、サブカテゴリー内のリストを選ぶ

※サブカテゴリー内のリスト選択のときに[←]をタッチすると、前画面に戻ります。

7 手順5・6の操作を繰り返して曲名表示のときに、[▶||]をタッチする

→選択された曲の再生が始まります。

■途中で解除するには…

[ENTER]を1秒以上タッチしてください。

• 元のモードに戻ります。

■カテゴリー選択した後は…

一度カテゴリー選択をして曲の再生をした場合は、[ENTER]をタッチすれば前回操作した最後の画面に戻ります。その状態から[←]をタッチすると、前画面に戻ります。元のモードに戻りたい場合は、もう一度、[ENTER]をタッチしてください。

iPod MENUのカテゴリーから ビデオファイルを探す(VIDEO)

- 1 **[⏏]**を1秒以上タッチする
- 2 **[[△]SCRL]**をスライドする、または**[⏏]**/**[▽]**をタッチして、「**VIDEO**」を選ぶ
- 3 **[▶⏏]**をタッチする
→iPodのカテゴリーが表示されます。
- 4 **[[△]SCRL]**をスライドする、または**[⏏]**/**[▽]**をタッチして、カテゴリーを選ぶ
※iPodビデオメニューのカテゴリーはiPodによって異なります。
- 5 **[>]**をタッチする
→**[<]**をタッチすると、前画面に戻ります。
※ビデオファイルがない場合は、「**NO VIDEO**」と表示します。
- 6 **[[△]SCRL]**をスライドする、または**[⏏]**/**[▽]**をタッチして、ファイル名表示のときに、**[▶⏏]**をタッチする
→選択されたビデオファイルの再生が始まります。
※ビデオファイル再生中に電源を切る場合は、一時停止を行ってから電源をお切りください。次回電源を入れた場合、再生していた場面から再生が始まります。(リジューム機能)
※一時停止を行わない場合は、初めからの再生となります。

■途中で解除するには…

[⏏]を1秒以上タッチしてください。

- 元のモードに戻ります。

アルファベット検索する (ABCサーチ機能)

この機能は、アルファベット文字でサブカテゴリー内のリスト(アルバム名/アーティスト名/ソング名)を検索します。

- 1 前項の手順1～5の操作を行い、サブカテゴリー内のリストを表示させる
※iPodのカテゴリー表示中(手順4)は、検索できません。
- 2 **[□DISP]**を1秒以上タッチする
→アルファベット検索画面が表示されます。
- 3 **[[△]SCRL]**をスライドする、または**[⏏]**/**[▽]**をタッチしてアルファベットを選び、**[▶⏏]**をタッチする
→検索中は「**SEARCHING**」が表示されます。
※ファイルが見つからない場合は、「**NOT FOUND**」と表示します。
※検索後に**[□DISP]**をタッチすると次のリストを再検索します。
- 4 目的のファイルが見つかったときに、**[▶⏏]**をタッチすると再生が始まります

■途中で解除するには…

[□DISP]を1秒以上タッチしてください。

- 元のモードに戻ります。

ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)

AUXを選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。また、AUX Bluetooth トランシーバー(BLT370)を接続すると携帯電話の通話音声を聴くことができます。

- 1 [PWR] をタッチしてソースメニューを表示し、[AUX] 横のボリュームキーをタッチする



→接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

■音が割れる/音が小さいときには…
本機の入力レベルを調整してください。
設定方法は、次項の「ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)」をご覧ください。

■AUX Bluetooth トランシーバー(BLT370)を接続したときは…

「携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL SWITCH)」(37ページ)を参照して設定を「ON」にしてください。

AUX入力接続のしかた

市販のステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機背面の[AUX入力端子]へ接続してください。

ご注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)

本機に接続した外部機器の音声が、音量を調節してもよく聞こえない場合、以下の手順で感度の調整を行ってください。

※初期設定は「MID」です。

ご注意

- この機能は、AUXモードを選択しているときに設定できます。

- 1 [A] をタッチして、アジャストモードにする

- 2 [OPTION] 横のボリュームキーをタッチする

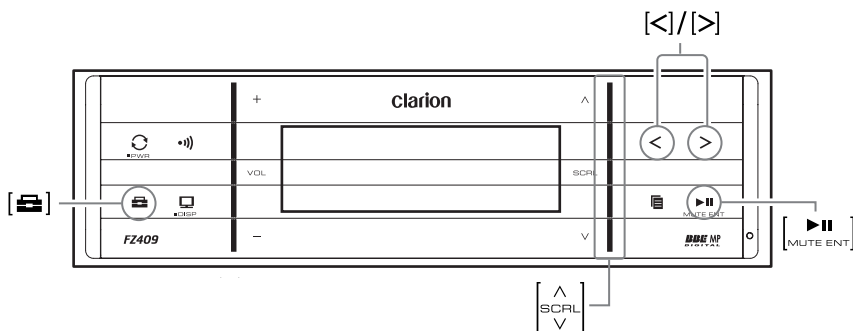


- 3 「AUX SENSE」を選び、[>] をタッチする

- 4 [SCAL] をスライドする、または[Λ]/[V] をタッチして、「HIGH」、「MID」、「LOW」を選ぶ

- LOW : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- MID : 通常レベルのとき
- HIGH : 入力レベルが低いとき
(HIGHに設定する音が大きくなります。)

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目の選びかた (各種設定)

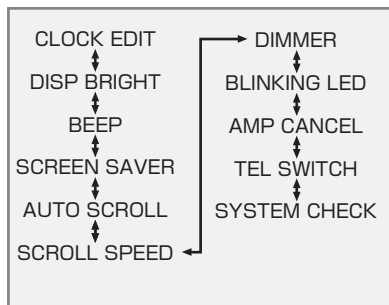
1 [] をタッチして、アジャストモードにする

2 「**SETTING**」横のスクロールキーをタッチする



3 [SCRL] をスライドする、または [] / [] をタッチして、項目を選択する

→タッチするたびに、次のように切り換わります。



■途中で解除するには…

[] を2回タッチしてください。

•元のモードに戻ります。

ご注意

•10秒間操作がないときは、アジャストモードを解除し、元のモードに戻ります。

時刻を合わせる(CLOCK EDIT)

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**CLOCK EDIT**」を選ぶ

3-2 [>] をタッチする

3-3 [SCRL] をスライドする、または [] / [] をタッチして、“時”を調整する

3-4 [>] をタッチしてカーソルを移動する

•[<] をタッチすると、“時”に戻ります。

3-5 [SCRL] をスライドする、または [] / [] をタッチして、“分”を調整する

3-6 [] を2秒以上タッチする

→ディスプレイに“MEMORY”を表示し時刻がメモリーされます。

ディスプレイの明るさを調整する (DISP BRIGHT)

ディスプレイの明るさを調整することができます。ディマー(DIMMER)設定がONのときは、本機能を車のイルミネーションのON/OFFに合わせて別々に設定することができます。

※初期設定は、「5」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**DISP BRIGHT**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [ **SCRL** ]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]をタッチして、設定を調整する

- 調整範囲は、1～8です。

ご注意

- 車のイルミネーションをONにすると、「**ILLUMI ON**」が表示されます。車のイルミネーションをOFFにすると、「**ILLUMI OFF**」が表示され別々に設定することができます。

操作音を設定する(BEEP)

※初期設定は、「ON」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**BEEP**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [ **SCRL** ]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

スクリーンセーバーを設定する (SCREEN SAVER)

ディスプレイに時計表示などを常に表示させておきたい場合は、「OFF」に設定してください。

※初期設定は、「ON」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**SCREEN SAVER**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [ **SCRL** ]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

タイトルスクロールを設定する (AUTO SCROLL)

MP3/WMA/AACのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**AUTO SCROLL**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [ **SCRL** ]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

- ON** : 自動でスクロールします。
- OFF** : 1回のみスクロールします。

スクロールスピードを調整する (SCROLL SPEED)

タイトル表示のスクロールスピードを調整することができます。

※初期設定は、「3」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**SCROLL SPEED**」を選ぶ

3-2 [**>**]をタッチする

3-3 [ **SCRL** ]をスライドする、または[**Λ**]/[**V**]をタッチして、スピードレベルを設定する

- 調整範囲は、1～5です。

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**DIMMER**」を選ぶ

3-2 [>] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または [] / [] をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

盗難防止インジケータを設定する (BLINKING LED)

車のエンジンスイッチがOFFのときにリセットボタンを赤く点滅させ、視覚的効果による盗難抑止効果を発揮します。

※初期設定は、「OFF」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**BLINKING LED**」を選ぶ

3-2 [>] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または [] / [] をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

外部アンプを設定する (AMP CANCEL)

外部アンプを接続するとき、内蔵アンプの電源をOFFにすることによりノイズを低減することができます。

※初期設定は、「OFF」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**AMP CANCEL**」を選ぶ

3-2 [>] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または [] / [] をタッチして、「ON」「OFF」を選ぶ

- ON : 外部アンプを使用します。
- OFF : 内蔵アンプを使用します。

携帯電話音声の割り込みを設定する (TEL SWITCH)

携帯電話を別売の接続ユニットを介して接続すると、車側のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**TEL SWITCH**」を選ぶ

3-2 [>] をタッチする

3-3 [] をスライドする、または [] / [] をタッチして、「ON」「OFF」「MUTE」を選ぶ

- OFF : 割り込みしません。
- ON : 携帯電話の音声的車側のスピーカーから出力されます。
- MUTE : 車側のスピーカーから出力されません。

ご注意

- AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

システムをチェックする (SYSTEM CHECK)

マニュアルでシステムをチェックします。

3-1 『設定項目の選びかた(各種設定)』の手順で「**SYSTEM CHECK**」を選ぶ

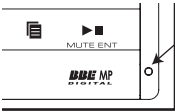
3-2 [] をタッチする

→「**SYSTEM CHECK**」が表示されます。

- システムチェックが完了すると、元のモードに戻ります。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。 
ラジオ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現 象	原 因	処 置
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。
USB / iPod	音が出ない	デバイスにMP3 / WMA / AACファイルがない	デバイスにMP3/WMA/AACファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
		USB機器が認識されない	USBコネクタを抜き差ししてください。 それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
	USB機器が挿入できない	USB機器が破損している	
		USBコネクタの接続が悪い	
		動作状況により、本機とUSB機器やiPod、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
	USB機器が挿入できない	USBコネクタの挿入方向が間違っている	USBコネクタの向きを変えて挿入してください。
		USB機器のコネクタが破損している	新しいUSB機器と交換してください。

その他

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原 因	対処方法
USB / iPod	ERROR2	ファイルがMP3/WMA/AACフォーマットではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用してください。
	ERROR3 (USBモード)	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用してください。
	ERROR3 (iPodモード)	iPodにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたiPodを接続してください。
	CUR-ERR	過電流検出	USB機器を取り外して、もう一度接続してください。USB機器がまだ認識されていないのであれば、別のUSB機器で試してみてください。
	HUB ERR	本機にHUB機器を接続したとき	本機は、HUB機器のご使用はできません。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 10dBf
SN比 : 55dB
分離度 : 30dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 30dBμV
SN比 : 50dB

■USB部

最大転送レート12MbpsでUSB1.1/2.0互換
フォルダ構造 : 8階層
フォルダ数 : 最大512フォルダ(1フォルダあたり最大255ファイル)
ファイル数 : 最大130,560ファイル
フォルダ名 : 最大64byte
(1byte文字で64文字)
ファイル名 : 64byte
(1byte文字で64文字)

(MP3)

MP3デコード :
MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート(kHz) :
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート(kbps) :
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160VBR

(WMA)

サンプリングレート(kHz) : 32, 44.1, 48
ビットレート(kbps)
: 32, 36, 40, 44, 48, 64, 128, 160, 192
(WMA V2/V7/V8)
: 64, 80, 96, 128, 160kbps(WMA V9L1)

(AAC)

サンプリングレート(kHz)
: 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48
ビットレート(kbps/VBR) : 8~320

■AUX部

入力感度
LOW : 2.00V(2V出力時)
MID : 1.35V(2V出力時)
HIGH : 720mV(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 20W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)
最大出力 : 50W×4
適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
トーンコントロールBEAT EQ
BASS : ±14dB (50/100/200Hz)
MID : ±14dB (500Hz/1kHz/2kHz)
TREBLE : ±14dB (5/10/15kHz)
マグナベースEX :
+10dB(50Hz) (音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル : 2.0V

■共通部

電源電圧 : DC14.4V(10.8V~15.6V)
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 2.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A
外形寸法 :
178(W)×50(H)×166.6(D)mm
[取付寸法 : 157(D)mm]
質量 : 0.827kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- USB延長ケーブル 1本
- セムス六角ボルト 5本
- サラネジ(M5×8) 4本

*これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120-112-140

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

※お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。